

## 部 会 議 事 録

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和7年度 第9回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2025年12月18日（木） 18時00分から20時05分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：12人（総数17人） 出席者：畠山会長、澁谷副会長、徳江委員、藤原委員、小原委員、塚田委員、金子委員、馬場委員、飯森委員、岡田委員、矢島委員、岡野委員 事務局：5人 森井センター長、高橋主幹、千原、星、脇田
3 報 告	
報 告	<p>(1) 前回全体会について 資料（前回の議事録）に基づき、事務局から説明。訂正箇所等があるかを確認した。 【質疑等】なし</p> <p>(2) 地域団体からの情報提供等 [片瀬地区民生委員児童委員協議会] 12月1日付で、今期の民児協がスタートした。片瀬地区では半数以上の委員が入れ替わり、29名となる。他団体と連携・協力しながら、地区の皆様へ寄り添い、見守りながら活動していく。</p> <p>(3) WG開催結果報告について * 片瀬&amp;江の島歴史文化見直しWG 前回全体会後WGがなかったため、報告なし。</p> <p>* ごみとマナーの向上を考えるWG 資料に基づき報告。ポスターは現在中学生から1枚届いている。表彰については、小学校低学年の部・高学年の部・中学生の部・最優優秀賞の4つに分けて行う。 【質疑等】なし</p> <p>* 生活防災を考えるWG WGは開催していないが、前回全体会後からの進捗を事務局から報告。江の島島内の避難アートについて、江の島エスカーに絵を描いている影絵師にオファーをかけている。来週22日に先方と打ち合わせを行う予定。</p>

	<p>*広報WG 資料に基づき事務局から報告。登録者増加のため、地区内の施設にチラシの掲示を依頼している。チラシを掲示することで登録者増加を見込める施設があれば教えてほしい。</p> <p>【質疑等】 [1] 各町内会の掲示板に掲示するのが効果的ではないか。併せて地域団体の会議等で配布することも良いのではないか。</p>
<p>4 議 題</p>	
<p>議題での 検討事項 ・意見</p>	<p>(1) まちづくり協議会公募委員の募集と改選について 資料に基づき事務局から説明。前回の改選とは違い、応募は原則電子申請となっている。1月25日号の広報に掲載するため、配布日に合わせて応募開始日は1月21日に変更になった。</p> <p>【主な質疑等】 [1] 前回の全体会后に運営要領を確認したが、内容として違和を感じる部分がある。地域団体から選出された委員も再任は1回となっているのではないか。地域団体から選出された委員も、公募委員と同じくまち協委員として、同じルールでの運用をすべきだと考える。 また、各団体等から推薦という表記があるが、推薦がなければその団体から出る必要はないと個人的に解釈した。 地域団体から選出された委員は団体からの報告のみすればいいと考えている人もいるかもしれないが、まちづくり協議会は地域の課題を解決する場なので、WGに入り活動すべき。 部会という文言が入っているが、現在はWGとなっている。今期に限っては部会が存在しない。WGで活動している実績があるので、続けていく必要を感じる。 疑問に思うのが、出席しない委員はまちづくり協議会から外れたほうがいい。名前だけ残しているのはおかしいのではないか。このように違和感を覚える部分があるため、規定の見直しをしてほしい。</p> <p>〔事務局〕 団体から推薦された者は、それぞれの地域団体で抱えている課題を持ち寄り、解決につなげていきたいという思いがあり入っていただいている。再任が1回という部分は、運営要領に「前条第1号により選出されたもの」という記載があるため、現在は公募委員に限っている。 WGになったのは、話し合いの中で部会ではなくWGとして事業に取り組むという意見にまとまったため、すでに要領は修正済みである。 公募委員も含めて再任は1回に限るという文言をとったほうがいいのか。地域団体推薦委員も再任は1回にしたほうがいいのか、どちらか。</p> <p>[2] 事情もあり、再任1回では足りない場合も出てくると思うので、「原則として」1回に限るという表記にしたほうがいいのではないか。事業によって</p>

<p>議題での 検討事項 ・意見</p>	<p>は長く継続する必要性が出てくることもあることから、このような表記にするべきだと考える。手持ちの資料では委員の再任は1回に限るとなっている。</p> <p>[事務局] 「前条第1号により選考されたもの」という表記があるため、公募委員に限る。 委員が話しているのは、再任を1回にするかなくすかで、公募委員と団体推薦委員を同じ扱いにすることかと思う。</p> <p>[3] 「原則として」1回という表記をすることによって、続けたい人は続けることができる。</p> <p>[4] 規定の改定についての話し合いをするのであれば、設置要綱、運営要領の2点を、皆様事前にお持ちなのか。</p> <p>[事務局] 要綱、要領を事前にメールにてお送りしている。</p> <p>[5] 要綱を補うかたちで要領があると思う。要綱6条の「委員」とは大体推薦委員と公募委員を分けていないように思う。</p> <p>[事務局] 要綱の中では分けていない。片瀬地区要領内で規定を設けている。また、地域団体が1回限りとなるとまちづくり協議会として成立しなくなることもあるかもしれない。</p> <p>[6] 団体推薦委員と公募委員が同時期に改選となった場合、全員が新しくなる可能性も考えられる。そうなる今まで進めてきた事業の継続が難しくなる。もしくは、任期内に終わる設計で事業を進めるか。または団体推薦委員と公募委員の改選時期を交互にするか。</p> <p>[7] 交互の改選が理想。</p> <p>[8] 要綱を定めた際に公募委員が再任1回までとなった経緯を知りたい。事業に関しては1期・2期ではやりきれない部分もあるかと思う。個人的には、団体推薦委員と公募委員は同じ条件にするべきだと思う。</p> <p>[9] 同じ人が長く続けるよりもたくさんの方に参加してほしいという意見からこのような規定になったかと思う。団体推薦委員と公募委員の規定に違いがある部分は変えていいと思う。ただ、団体推薦委員はその地域団体をしっかりと把握している必要がある。原則推薦されるのは役員が適任かと思うので、2～4年ごとに委員を変えていくのは現実的ではなく、短いスパンで変えたくはない。現状を見ると、4年間では区切りがつかないことが多いため、公募委員の再任1回という規定を変更してもいいと思う。</p> <p>[10] 自分が公募委員をしていた時には任期の規定がなかったが、過去に藤沢市</p>
------------------------------	---

全体で任期を設定したほうがいいという話になった。その際に任期を設定した記憶がある。会長や役員が出ているのは、地域団体を代表して会議に出ているため。ほかの団体に意見を聞きたい際に、団体を代表してまち協の場で発言をすることになる。地域団体の会長が2年2期で変わるわけではなく、同じく推薦委員を2期で変えるというのも厳しい。公募に関しては地域から選出できるため、片瀬のルールで決めていけばいいと思う。

[11]

まちづくり協議会に入った際、組織の成り立ちがわかっていなかった。2年目にして運営要領の話聞いていて初めて知った部分もあるため、どう意見していいかわからないが、2年で何ができたかと聞かれると地域のことを知ったことくらい。貢献できたかと聞かれると自信がない。来年以降、進めてきた成果を実感できるかと思う。所属している歴史文化WGで取り組んでいることも道半ばであり、来年以降も引き続きやっていかないと完成しないものばかり。2期だけで事業を進めるとなると、厳しいものがある。

[事務局]

団体推薦委員に再任規定がない理由もご理解いただけたかと思う。

[12]

何期も繰り返し委員を務めることは良くはないかと思う。あくまでもまちづくり協議会は今の片瀬の問題を話しあう場であり、それが目的だと思う。過去どうだったかという話はあまり重要ではない。

もう一点、団体から推薦されたら自動的に委員になるのか、選考委員会で選考した結果なるのか。

[13]

2年間活動して物足りなさを感じる中、1期休まないで再任できないルールで現在公募委員には活動してもらっている。団体推薦委員は長い方が多いので、委員が言っていることは理解できる。ただ、団体推薦委員は今まで様々な課題に取り組んできた人たちで、その経験や知識が必要な場面もある。公募委員の再任ルールについては、全体会で話し合うべきだと思う。やる気をもって活動していただいている公募委員の気持ちを汲んであげたいと思う。地域団体に入り推薦されることや、協力員になるという手もある。熱意をもって活動をしてくれる公募委員には、何等かのかたちで残ってほしい気持ちがある。

[14]

江の島道を整備したい気持ちがあり、予算次第だが看板の設置は来年以降になる。自分の任期から外れてしまうため残念な気持ちもある。

[15]

地域団体からの報告がいないというような言い方だったが、報告がないと活動内容がわからない。そもそも地域団体が地域のために最前線で動いており、手が届いていない部分を埋めるのがまち協。報告がないと課題の把握もできない。

[16]

地域団体が熱心に活動してくれているのは分かるが他の団体もそうだろうか。いつ何をしたかという報告だけだと、そうですかとしかならない。

[事務局]

話がそれてしまったが、委員改選の再任の部分だけでも議論を進めたい。委員の意見を募りたい。

[17]

1期2年、再任で4年まで。引き続き部会やWGにかかわっていきたいのであれば協力員として2年活動した後もう一度公募委員になればいい。

[18]

例えばだが、団体推薦委員・公募委員ともに任期なしだと、委員構成30人全員が辞めない場合世代交代が進まない。それも踏まえて慎重に議論すべき。

[事務局]

今のご意見について、公募委員は選考があるのである程度整理はできる。

[19]

必ずしも同じ人間が続けることがいいとは思わない。似たような意見が出てしまい、新しい意見を取り入れるのが難しくなってしまうため。過去に、残ってほしかった公募委員が任期でやめてしまったことがあった。年齢的に見ても、公募委員のほうが若い人たちが来る。ただ規則がある以上、変えていかなければ続けることはできない。継続してやっていかなければならない事業に関しては、やりきるまでいてほしい思いはある。地域をよくしていきたいのであれば、本来団体推薦委員も変えていくべきだと思う。再任のルールを設けるべきかどうかは、どちらともいえないが、公募委員だけ再任の規定を作る必要はないと思う。

[20]

委員が話したように本来団体推薦委員も変わるべき。部会の活動が停滞をしていた時期があり、WGを立ち上げて公募委員にリーダーになってもらった。まち協として、公募委員の意見を取り入れながら進めていくようになっている。自分自身団体推薦委員として、まち協の場では公募委員の意見をささえる立場でいたいと思う。今後しばらくは公募委員のやりたいことを進めていくべき。協力員という手もあるが、全体会にも参加してほしいため公募委員の再任規定についてはなくしていいのではないかと。事務局が言ったように選考委員会で公募を入れ替えていくことはできる。

[21]

今日結論は出せないと思う。委員を見ていて、地域をよくしたいという思いで活動してくれていることはわかる。委員が言ったように「原則」という文言を取り入れ、残れるようにしていきたい。意欲があつて頑張ってきた委員は事業が終わるまでいてほしい気持ちがある。

[事務局]

今日決めないと募集をかけられないため、本日決定したい。

[22]

多数決をするのもそぐわないし、時間もないため、決定は二役に任せていいのではないかと。

[23]

団体推薦委員、公募委員お互い対等に地域のために活動していくべきだと思う。二役で決めてしまって大丈夫か。

→委員了承

[24]

全体で30人以内というのは市長の決定か。

[事務局]

運用の手引き「委員について」で30人という目安を作っている。

[25]

新しい方を募集するのはいいことだと思う。ただ、組織やルールについて新委員に説明する機会を設けるべきだと思う。

[事務局]

自分もそう思う。ただそれが、まち協としてあるべき姿なのかという懸念もある。来期に向けて検討をしていく。

[26]

スタートする際に説明の機会があるといいかと思うので、お願いしたい。

(2) 令和7年度 地区集会について

資料に基づき事務局から説明。本番前に1月の全体会がまだあるので、見直していただきたい。

【主な質疑等】(1) 資料3「実施要領(案)」について

→意見なし。

【主な質疑等】(2) 資料4「進行表」について

[事務局] 委員の役割について検討を進めたい。公募委員から各WGの発表をしてもらおう。司会は〇〇委員にしていだけないか。

→委員了承。進行表は事務局で用意。

[事務局] 全体会の活動報告は△△委員で良いか。

→委員了承。

[事務局] 受付は2名ご協力いただきたい。

→●●委員、▲▲委員挙手。決定。

[事務局] 会場案内も2名お願いしたい。

→□□委員、もう1名は1月全体会で決定。

[事務局] 会場設営に関してはご協力いただける方で前日に行う。アンケート回収は1月全体会にて決定する。

[27] 当日の会場は何時まで確保しているか。

[事務局] 15時まで確保してある。

【主な質疑等】(3) 資料5「会場図」について

[事務局]

前回全体会での意見を踏まえ、レプリカは中央に配置している。委員席は発表者以外後部に変更した。

[28]

レプリカの置き場に関しては、配置図のとおりで問題ない。(委員から江島神社に確認済)

[29]

レプリカとはいえさわってはいけないかと思う。さわらないように見ている係は必要ないか。

[30]  
神社に確認をする。

【主な質疑等】(4) 資料6「アンケート」について  
[事務局]

前回全体会でご確認いただきいただいたものだが、委員の意見があり設問3について、複数回答をありにした。また、設問3の選択肢として「公式LINE片瀬地区 KEIJI-BAN」を追加した。設問6については、「ご要望」という文言を追加した。

[31]  
設問1「あなたのお住まいはどちらですか。」に、「(在勤・在学)」という文言を追加したほうがいいのではないか。

[事務局]  
その他の欄に書いていただくのではだめか。ほかの委員からも意見を聞きたい。

[32]  
センター事業のアンケートにも在勤・在学の記載はあるか。

[事務局]  
現状ない。

[33]  
住まいを聞いているのは、地区外からどの程度来ているかを知りたいのではないか。設問の目的によって変わってくると思う。住まいを知りたいのか、片瀬との関わりを知りたいのか、どちらか。

[34]  
住まいを知りたいのだと思う。在勤・在学の方にも参加していただきたいと思う。「片瀬地区に在勤・在学」という選択肢があるといいのでは。

[35] 片瀬地区に関わる人というのは当然在勤・在学も含まれると思う。そのような人をその他でまとめるのではなく、1つの選択肢として用意すべきかと思う。

[36]  
アンケートを取ったあとどのように活用するのかを考えると、比較のためにも前回のアンケートからフォーマットを大きく変えないほうがいいのでは。

[37]  
設問を、「どちらの地区から来られましたか(在住・在勤・在学)」という表記にすればいいのではないか。

[38]  
目的次第かと思う。アンケートを取る目的はどこにあるのか。

[39]  
塚田委員が言ったような設問でもいいと思う。

[40]  
次回の募集の際に参考資料にするという面を見れば、現状のフォームでいいのではないか。

[41]

働いている人にとっては、1日の半分を勤務地で過ごしている。在勤・在学も1住民としてとらえるべきだと個人的に思う。

[42]

片瀬に住んでいる人だけで地域を作るのではないというのは、地域団体でも言われている。住んでいない人も、地域住民としてとらえるようになってきている。お住まいのあとに「(在勤・在住)」を入れるのもいいかと思う。

[43]

片瀬にチェックを入れた場合、在住なのか、在勤・在学なのかわからない。

[44]

それでいいと思う。住んでいる人だけで地域づくりをしていくわけではないという考え方に変わってきているため、区別をする必要はない。

[45]

ひな型がどこかにあるのではないか。防災では昼間人口・夜間人口がある。どちらも片瀬であり、どちらが多いからといって避難所が変わることはない。それと同じで、すべて合わせてとらえるようにしておいたほうがいいと思う。

#### 【主な質疑等】(5) その他

[事務局]

前回全体会で委員から質問があった、保育ボランティアの対象年齢だが、1.5歳～未就学児の対応となる。手話については、1月23日時点でキャンセルしなければならない。そのため、希望がなくても手話通訳はつける方向で調整を進める。

#### 【検討事項】

(3) 絵巻のレプリカをさわらないように対策をとるかどうか、委員から神社に確認をする。

#### 【決定事項】

(2) ○役割分担

- ・司会1名(委員)
- ・受付2名(委員)(委員)
- ・会場案内2名(委員)(1月全体会で募集)
- ・挨拶(会長)
- ・全体会報告1名(副会長)
- ・WG報告各1名 歴史(委員) マナー(委員) 防災(委員)  
広報(委員)
- ・アンケート回収(1月全体会で募集)
- ・会場設営(前日参加できる委員)

(4) 在勤・在学は入れる方向で調整し、ひな型を探す。

(3) 片瀬市民センター建替えについて  
急ぎの議題ではないため、時間の関係上次回の全体会に持ち越しとする。

5 その他

(1) 地区交流会について

事務局から説明

日時：2月5日（木）

人数制限：センター長含め3人まで。

昨年はセンター長、正副会長に行っていた。今年度は片瀬地区から報告をすることとなっているため、地区集会で使ったスライドや読み現行を再編成して地区交流会の準備をする。参加希望者はいるか。

【主な質疑等】

委員参加希望なし

【決定事項】

センター長・正副会長での参加とする。

(2) 当面の日程

片瀬&江の島歴史文化見直しWG 1月14日（水）16:00～

ごみとマナーの向上を考えるWG 1月20日（火）18:00～

生活防災を考えるWG 12月19日（金）10:00～

広報WG 1月15日（木）18:00～

5 その他

【全体をとおしての意見等】

[1]

どんぐり児童クラブについて、7月の津波警報でグランシティと片瀬中学校に走って逃げた。その際高学年が低学年をリードしていた。

子どもの防災のこともこの場で話すべきかと思うので、何か子どもたちのために力になれていければと思う。過去には「青少年健全育成部会」で進めていた。まち協としてこの案件について何等かのかたちでかかわっていたらと思う。

[2]

報告で伝えなかったが、江の島東町町内会に、観光協会が主体となる、台湾の高雄の小学生が絵を描いたランタンを出している。江の島に来た際には見てほしい。時期は短いので早めに。

6 閉会

以上

<次回全体会>

日時：2026年（令和8年）1月23日（金）15:00～

場所：片瀬市民センター ホール

以上

6 閉会